

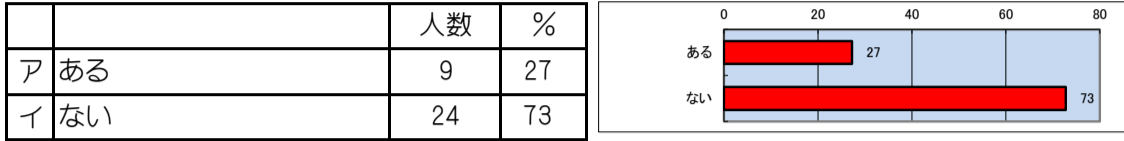
「いじめ」に関するアンケート (集計結果) 令和6年 6月実施



※今回1年生は質問1のみアンケートに回答しているため、合計が100%になっていない項目もあります。

調査した人数 33名

【質問1】今年の4月から今日まで、質問2のようないやな思いをしたことがありますか。



今回も「いじめ」という言葉は使わず「質問2のようないやな思い」というたずね方になっています。

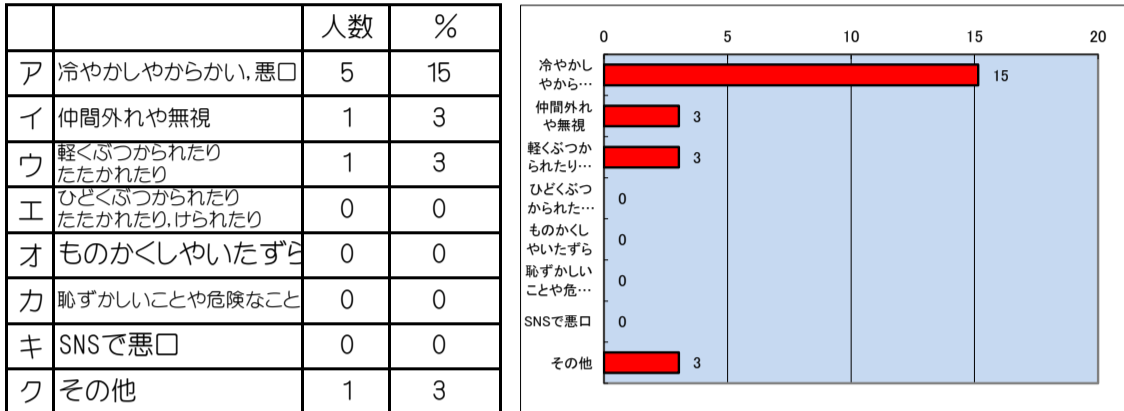
【質問1】今回の調査で「ある」と答えた子は9人でした。内容としては、【質問2】きつい言い方をされた、嫌なことを言われた、話を聞いてくれなかった、ぶつかったのに謝ってくれなかったなどの回答がありました。

【質問3】現在はないという回答もありますが、まだ嫌な思いをしている子もいます。嫌な思いをしている子については、その原因となっていることを無くし、今後同じことが起こらないようにする指導をしています。

今後も相手にいやな思いをさせてしまい、相手がいじめられたと感じたらそれは『いじめ』になるということを教え、自分も相手もお互いがいやな思いをせず、楽しく学校生活を送れるように指導していきます。

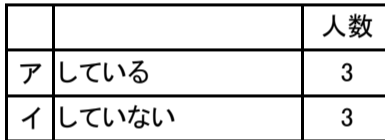


【質問2】質問1で「ある」と答えた人は、どんなことをされましたか。

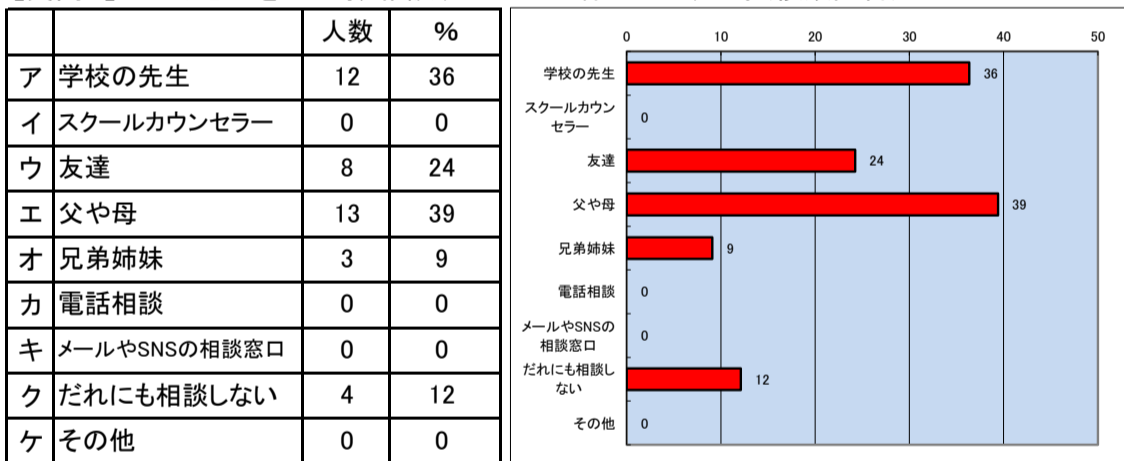


〈その他の内容〉 息をかけられる

【質問3】質問1で「ある」と答えた人に聞きます。
そのことで、今もいやな思いをしていますか。



【質問4】いやな思いをした時、相談するとしたら誰にしますか。(複数回答)



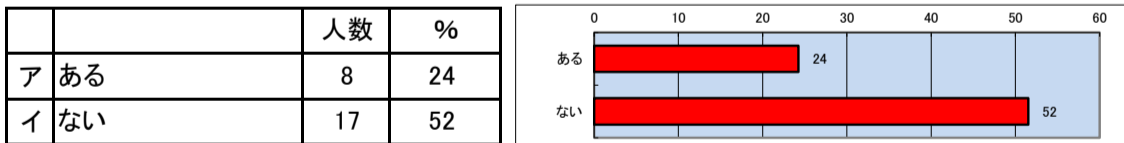
【質問4】児童の相談相手としては親への相談が1番多く、次いで友達、先生への相談となっており、保護者、友達や先生との関係も良好であると考えています。

しかし、誰にも相談しないという子も4名おり、「今はだれにも相談する必要がない」と考えている場合もありますが、「だれにも相談できない」という回答である可能性があることも踏まえ、学校では困ったときや苦しいときに、周りの人に相談することの大切さを伝えていきます。

子供と最も長く接しているのは、学校の先生ですので、我々もその重要性を自覚し、子供が相談しやすい関係づくり、環境づくりに努めていきます。

お子さまから何らかのサインが出された時には、学校にもご相談いただき、家庭と学校で連携・協力し、対処していきたいと思えます。

【質問5】今年の4月から今日まで、友達がいやな思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。



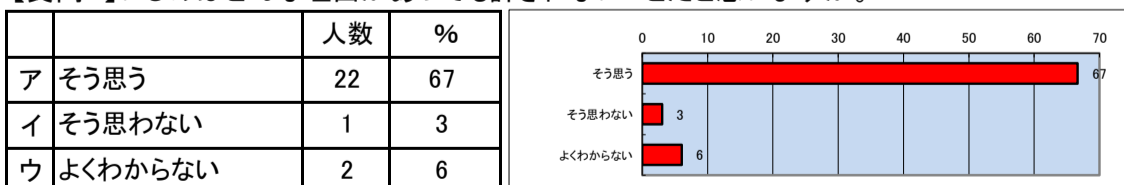
【質問6】「子ども相談支援センター電話相談紹介カード」を知っていますか。



【質問5】「ある」と回答した子が8名いました。いじめではないにせよ、言い争いや相手に対してのきつい言葉、嫌がる言葉や行動などは、まだまだ日常的にあり、最終的にいじめへとつながる可能性もありますので、学級の中でも言葉づかいに気をつけるよう指導しています。今後も子ども同士によりよい関わり合い(対話・コミュニケーション)に重点をおきながら、粘り強く指導を続けていきます。

【質問6】「子ども相談支援センター電話相談紹介カード」については、知らないと答える子が8名いるので、今後も機会があるごとに周知をしていきます。

【質問7】いじめはどんな理由があっても許されないことだと思いますか。



【質問7】いじめはどんな理由があっても許されないかという質問に対して「そう思わない」と回答した子が2名、「よくわからない」と回答した子が1名いました。今後もいじめの理解を丁寧に、いじめはどんな理由があろうと許されないこと」という指導を継続して行っていきますので、各家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。

今回のアンケートでは、重大ないじめと思われるケースは確認されませんが、いつでも、どの学校でも、いじめは起こりえる事だと認識しています。今後も油断することなく、学校の全職員が日常的に子供達の様子を見守り、よりよい人間関係を築いていけるように継続して指導していきます。ご家庭で気になることがありましたら、お知らせ下さい。家庭と学校で連携・協力し、いじめを生まない学校作りを進めていきます。

船泊小学校ホームページには、『船泊小学校いじめ防止基本方針～いじめを生まない学校作りを～』を掲載しています。ご確認ください。